



公益社団法人神奈川県助産師会

日時：1月 24日（土） 13：30～17：15

会場：ハイブリッド開催

災害時対応

時間：13：30～15：00

講師：昭和医科大学病院

災害看護専門看護師 舎利倉幸香氏



新生児のフィジカルアセスメント

時間：15：15～17：15

講師：神奈川県立こども医療センター

新生児科部長 柴崎淳氏

参加者数：48名（会員28名、非会員20名）

主催者から

舎利倉先生には、災害児の妊産褥婦・乳幼児を守るために「備える」ことについてご講義いただきました。ワークではハザードマップを開いて所属施設と近隣病院の状況を確認し、被災時に想定されることや優先させる業務を考えました。災害時の活動については、実際に被災地で実際に活動された経験を交えて災害時のアセスメントやケアのポイントについてお話しいただきました。

柴崎先生には、新生児初期蘇生のポイントや呼吸・循環、脳神経、皮膚を全身の観察のポイントについてわかりやすくご講義いただきました。どのようなとき、どのような時期に新生児搬送を行う必要があるのかについて理解が深まりました。明日からの日々の助産ケアに活かしていくかと思います。

参加者から

【災害研修の感想】

グループワークを通して、災害時に備えた準備や実践に向けたイメージができました。今回の学びを職場に持ち帰り、アクションカードの見直しを進めていきたいです。

【新生児フィジカルアセスメントの感想】

NCPRの解説や痙攣や黄疸、心疾患など大変わかりやすく理解でき、知識のアップデートになりました。動画で症状をしっかりと確認することができたので実際のケアに役立てていきたいです。また柴崎先生の講義をお聞きしたいです